

研修報告書

2026年8月21日

氏名 工 藤 敬 登

研修期間	2026年7月16日～2026年7月20日
------	-----------------------

1.研修目的

帯広地区バスケット協会 創立80周年記念事業で、2026 WORLD YOUTH BASKETBALL CHAMPIONSHIP IN GYEONGI大会が開催されるにあたり、芽室町スポーツ少年団所属の芽室ホルックスメインコーチ 工藤敬登、芽室小学校6年生 勝尾壱、芽室西小学校6年生 藤石結稀が、このたび U-12バスケットボール韓国派遣団の男子12名、女子12名に選出され参加する事で、バスケットボールの技術向上やアジア諸国の指導方法や戦術を学び、芽室町の少年団指導に微力ながら貢献したい。

2.研修内容

2026 WORLD YOUTH BASKETBALL CHAMPIONSHIP IN GYEONGI大会は、韓国で唯一、エリート選手チームやスポーツクラブチーム、そして海外招待チームが共に競い合い交流する国際青少年バスケットボール大会でした。

大会を通じてアジア諸国の子供達とバスケットボール大会を通じて、アジアの文化理解、国際交流、国際的な視野を広げる、世界とつながる力を持つ子供を育てる。また、この大会で学んだアジア諸国の指導や戦術を学び、芽室町の少年団指導者の資質向上をはかると共に、バスケットの技術向上を目指す。

韓国チーム特有の高い身体的強度ならびにスピードへの対応を通じ、児童は状況判断、1対1の対応力、チーム連携等の基礎的技能を実践的に向上させました。特に、試合中のプレッシャー下における意思決定の迅速化については、複数の試合を重ねる中で顕著な改善が確認されました。

今大会は、単なる競技力向上を超えて、挑戦と配慮、協働と責任、そしてスポーツマンシップを学ぶ、最も重要な教育の場です。コート上で流した汗と情熱は、勝尾壱、藤石結稀にとって生涯にわたって大切にすべき貴重な体験であり、より大きな夢への土台となります。

また芽室ホルックスは、全道大会が掛かった大会では毎回上位に入賞しているので、今回の大会を経験した勝尾壱、藤石結稀が芽室ホルックスを牽引し、バスケットボールの強い芽室ホルックスを十勝や全道に広めていきたいです。



① 韓国の仁川空港にて記念撮影



② 富川国立大学ハンイル体育館にて開会式の様子



③ 芽室ホルックス記念撮影
工藤ヘッドコーチ
勝尾 尙
藤石結稀



④ 韓国チームとの交流



⑤ 韓国チームとの交流



⑥ 韓国チームとの交流



⑦ 韓国チームとの交流



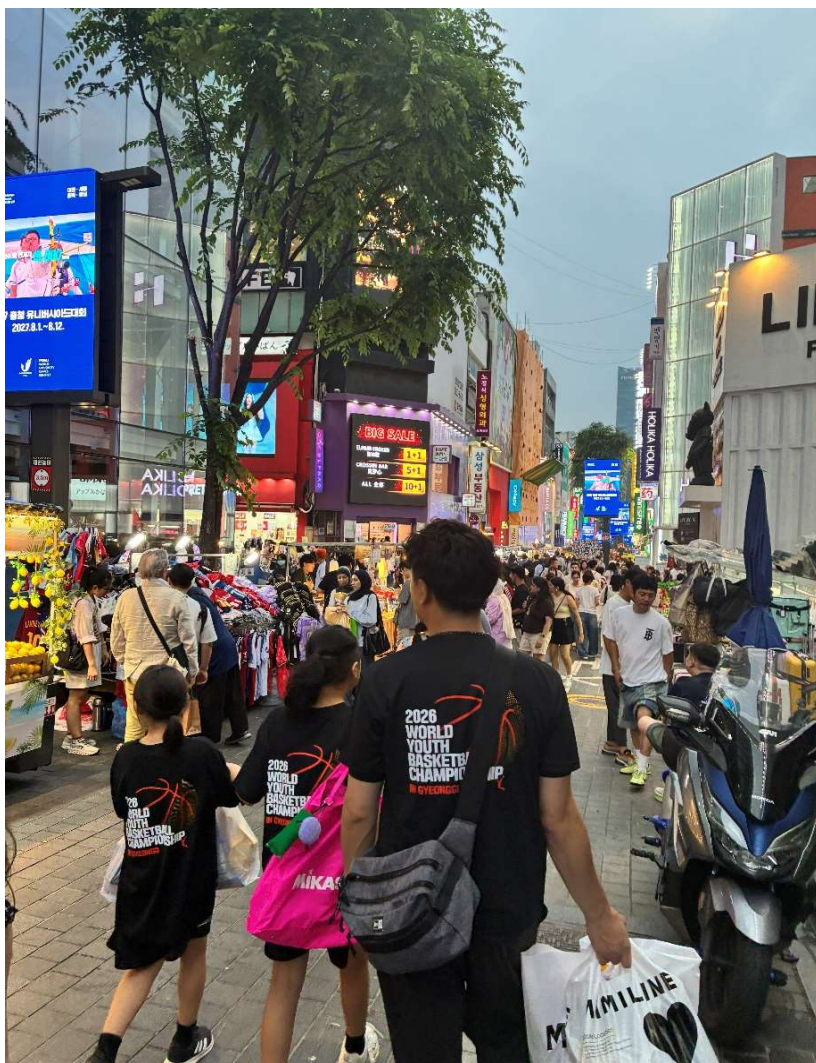
⑧ 韓国チームとの交流



⑨ 韓国チームとの交流



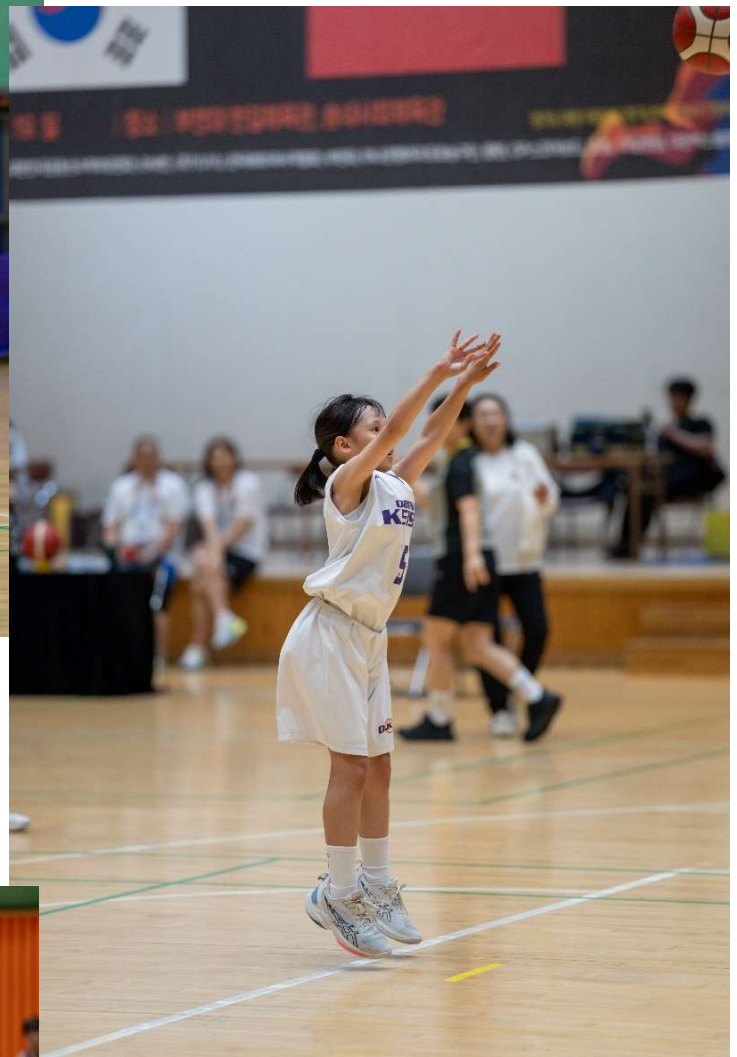
⑩ 富川国立大学ハンイル体育館にて
閉会式の様子



⑪ ソウルの明洞を社会勉強



⑫ 海外チームとの試合の様子





⑬ 韓国チームとの交流

